



明世まちづくりだより



◆ご挨拶 小林 博明

「光陰矢の如し」のことわざ通り、正にあっという間に2年の任期が終わりました。振り返れば、1年目は依然収まる事が無かった「コロナ禍」により、まちづくり総会は書面議決としてスタート。その後のイベントの数々も開催内容の制限が続き、十分とは言えませんでした。しかし2年目を迎えた今年は、4年振りに、「まちづくり総会」及び「明世学区町民会議」共に、多数の町民の皆さんが参加し、斯くも盛大に執り行うことができました。これも偏に、地域住民皆さんの、ご理解とご協力があったのことに、心より感謝申し上げます。

今年度忘れてはならない活動成果に、皆さんと共に作り上げてきた「明世地域計画」があります。来年度より、新たにスタートする区長会とまちづくりが、力を合わせ、実現に向け一歩一歩進めていただけることを願っています。

また、「明世小コミュニティ・スクール」では、登下校の見守り、花苗植え、読み聞かせ、野外学習支援など、多くの地域住民の皆さんのご協力により、充実した成果を収めることができました。この明世地区が、いっそう「あ」かるく、「き」らきらえがおにあふれ、「よ」さがいいっぱいの魅力ある地域となれる様、今後も関わらせていただく所存です。 在任中のご支援とご協力、ありがとうございました!

各事業別 主なイベント

◆あきよウォッチング事業 (同委員会/委員長:太田良平/副委員長:土屋晴男 総員11名)

●ウォッチングイベント2023 (11月26日 日曜) @メイン会場…市民公園 野外音楽ステージ前

- ・市民公園周辺の市3施設 (化石博物館、陶磁資料館、市ノ瀬廣太記念美術館) サイエンスワールド、ホテルの里“福”の計5か所をスタンプラリー形式でウォッチングし記念品進呈!!
- ・参加者人数 80家族 240名



◆防犯・防災事業 (同委員会/委員長:金森 大輔/副委員長:日比野 順一 総員6名)

●どんど焼きと防災イベント (1月7日 日曜) ウォッチング委員会の主催に協力 @市民公園いこいの広場

- ・参加者人数 100名 (どんど焼)、40名 (防災イベント)



◆青少年育成事業 (同委員会/委員長：小栗 丈人/副委員長：森川 日出夫、総員20名)

●こいのぼり祭り



風船飛ばし

300個の風船を、願いを込めた短冊に結び付け、青空に向かって一斉に飛ばしました！



ミニSL走行

森の汽車倶楽部さんありがとうございました。延べ750人の乗車がありました



乗車記念チケット

●ホタル育成活動 (ホタル学習、市民公園せせらぎ川整備、幼虫放流会、ホタル観賞会)



ホタルの先生 奥村 了さん



ホタルの里“福”幼虫放流会(3月7日)



市民公園せせらぎ川幼虫放流会(3月7日)



せせらぎ川の整備活動



狭間川幼虫放流会



せせらぎ川幼虫放流会



ホタルの里“福”幼虫放流会

●明世学区青少年育成町民会議 (2月11日 日曜) (明世小学校体育館 10時~12時)

・4年振りの開催で、明世小学校より2名、瑞浪北中学校より2名、中京高等学校地域活性化部より2チームが参加し充実した内容となりました。



明世小学校 早川かれんさん

明世小学校 鷗飼康世さん



瑞浪北中学校 竹内さらさん、有賀唯莉さん



中京高校 地域活性化部

特産品チーム

イベントチーム

◆**スポーツ事業**（同委員会／委員長：安藤 功／副委員長 大森 やする、総員4名）

- ノルディックウォーキング（4月～12月毎週第4火曜）
計8回開催 @市民公園周辺 参加者120名
・健康第一です！皆さんの参加お待ちしております！

- ノストレッチ講習会（6月、11月二回開催）
@戸狩公民館 参加者40名
・お馴染みの多々良恵子先生にご指導いただきました！



◆**福祉事業**（同委員会／委員長：木股 恭一、副委員長：粥川 浩道、総員6名）

- 第一回福祉講話（11月6日、7日、9日）「特殊詐欺防止講座」 寸劇第2弾地域防犯講座（多治見警察署）
- 第二回健康・福祉講話（令和5年3月4日/戸狩、11日/月吉、14日/山野内）
「特殊詐欺防止講座」 寸劇第3弾 防災・減災講座（瑞浪市防災会）



◆**広報事業**（同委員会／委員長：度會 真利／副委員長：加藤 正彦、総員6名）

- 今年度発行の‘あきよまちづくりだより’は、1年間の総括版として6ページ構成で1回のみ発行。
・イベントを中心にレイアウトし、皆さんに伝わり易く紹介させて頂きました。
- 明世地区地域計画冊子を1,800部全戸配布しました。



◆**会長直轄事業**（まちづくりより有志による協力者数名と事務局による）

- 花の苗植え
・6月には1,200ポット、11月には1,500ポットの花を植えました。
たくさんの花で明世小学校や明世各地域が和みました。
2年生児童、長寿会、地域ボランティアの皆さんお手伝いいただきありがとうございました。



- 市文化祭への出品（11月18日～19日）@瑞浪市文化センター
・ホタル育成事業への取組と明世小学校とのコミュニティスクール取組の様子を紹介



明世小学校コミュニティ・スクールの様子

◆多くの地域住民の皆さんに支えられ、明るく、たくましい、明世の子が育まれています！



地域の話 あきよの子 あかるいあいさつ きらきらえがお よさがいっぱい

◆明世小学校 6年生 水野光彩さん 青年の主張大会 小学生の部で優秀賞

●青少年の健全育成と「生涯学習の推進」を掲げ、令和5年度で44回目を迎えた伝統ある瑞浪市主張大会が6月18日瑞浪市総合文化センター文化ホールにて開催され（主催：青少年育成市民会議）、小学生の部で水野光彩さんが入賞表彰されました。



「みんながつながる明世町」

明世町には地域のために活動してくれている人がたくさんいます。私はその人たちに感謝したいです。

朝、登校する時、必ず出会う地域の方がいます。私たちの分団には奥村さんという方がついてきてくれています。毎朝、必ず決まった所に立っていてくれて、いつも私たちを待っていてくれています。そして、私たちに会うと優しい笑顔で「おはよう。」と、声をかけてくれます。車が来た時には、「左に寄って。」と、教えてくれたり、道路を渡る時には誘導してくれたりします。

私たちが使う細い道をトラックが通っていた時には、運転手の人に、「ここは、子どもたちが通るから、気を付けてください。」と、注意を促してくれます。その人たちが毎朝学校の坂の下まで一緒についてきてくれるので、私は安心して登校することができます。

お父さんやお母さんも、「奥村さんがいる所まで行くと、安心できるね。」と、話しています。

下校する時も学校の坂の下の横断歩道でそこを通る子たちを誘導してくれています。朝だけでなく、帰りも見守ってくれているおかげで、毎日安心して登下校ができています。

明世小学校では、奥村さんや地域の人に教えてもらいながらホタルの幼虫を育てています。日本ではホタルが減ってきているけど、私は毎年、夏にたくさんのホタルを見ることができます。とてもきれいで、毎年家族のみんなで楽しみに見に行っています。5年生の時に学校で約1年間育てたホタルの幼虫を放流しました。その時、地域の方が、「ホタルはきれいな川でしか生きることができないよ。」と、教えてくれました。

ホタル学習の時間に、川をそのままにしておく、だんだん汚くなってしまおうということを学びました。では、どうして明世町の川はきれいなままなのだろうかとみんなで考えました。そして、明世町のホタルが住んでいる川は、地域の人みんなで常にきれいになるように努力していることがわかりました。

ホタルを育てるためにきれいにしてくださっている。だから毎年たくさんのホタルを見ることができるということがわかりました。

ホタルを放流する会で、地域の方が、君たちが大人になった時に、またホタルを見に戻ってきてほしい。」と、言ってみえました。

地域の人たちは、ホタルを通じて自然の大切さを知ってほしい、地域の人みんなでホタルを大切にすることで、地域がまとまってほしいと願っているのだと思いました。

このように、地域の方たちが、登下校の見守りやホタルの飼育をしてくれているのは、私たちや地域の人みんなのことを大切に思ってくれているからだと思います。それに、地域の人たちが活動している様子を見てみると、みなさんとても生き生きとしています。きっと、それは、誰かのために行動しているからだと思います。誰かのために行動することは、安心できる社会ができるだけでなく、自分にとっても毎日を気持ちよく過ごすことにつながり、うれしくなると思いました。

私も、小さなことからでもいいから、誰かのために何かできる人になっていきたいです。

◆明世小学校 4年生 三浦渚月さん 日整全国少年柔道選手権に出場！ (11月19日)

- 柔整師杯岐阜県少年学年別柔道選手権大会（6月18日開催）にて、男女混合チームの一員として、4年生の部で男子選手も破って優勝し、全国大会に見事出場されました!! 三浦さんの得意技は、大外刈りと体落としだそうです!
- 水野市長と固い握手を交わし、力強い握りこぶし姿で写る三浦さん。大会出発の前に瑞浪市役所にて行われた、全国大会出場者激励会での勇姿です!



◆明世小学校 2年生 恒川よしのさん
「おおきなきがほしい」 読書感想文で想像膨らませ最高賞に!

- 自然の美しさや人との関わりをテーマにした読書感想文コンクール「こころの木」（東邦ガス主催）で東海3県下小学生から寄せられた、4,139作品の中から、最高賞となる「感動大賞」を恒川さんが受賞、表彰式が12月17日に名古屋市中区栄の栄ガスビルで行われました。
- 自分が住めるような大きな木がほしいと男の子が夢見る話で、木登りが好きだという恒川さんは、「私も木に登った時、ここに自分だけの部屋があったらいいのになあとと思う」と、想像の翼をいっぱい広げ素直な気持ちを、感想文にまとめられました。



文・佐藤さとる/絵・村上 勉



「私も大きな木がほしい」

私は木登りが好きです 私にはお気に入りの木が何本かあります。中でも一番のお気に入り、足をかけられる枝が、らせんかいだんのようにになっている木です。木のとっぺんは、風がよくふいて気持ちがよく、自分だけの世界にいるようです。『おおきなきがほしい』は、主人公のかおるといふ男の子が、自分の家の庭に大きな木がはえて、はしごや部屋や見晴らし台を作ったりして、すてきな木を想像するお話です。

はじめてこの本を読んだとき私は、かおるくんと同じ!と思いました。どうしてかというと私も木に登った時、ここに自分だけの部屋があったらいいのになあ、とよく思うからです。私には一人だけの部屋がありません。お姉ちゃんや妹と遊ぶのは楽しいけれど、ときどき気まづくなったり、けんかをするこもあって、一人になりたいときがあるからです。それに、ひみつきちがあれば、わくわくするし、しずかに読書をしたりすることもできるからです。

かおるくんのすてきな木には、長いはしごを登った先の部屋に、ベッドのおいてある部屋やキッチンがあります。中でもキッチンには、大きな窓があり、遠くの景色まで見渡すことができます。そして小鳥たちが遊びに来てくれます。そこで、かおるくんはとくい料理のホットケーキを焼きます。かおるくんのやくホットケーキは、ふっくらと大きくていい焼き色です。私も、ホットケーキなら一人でやけるので、自分だけの木があったら、そこでホットケーキをたくさん焼いて、一人で食べたいです。

私がもしかおるくんだったら、かおるくんの部屋に、トイレもほしいです。だって、トイレのたびに長いはしごを行ったり来たりするのはいやだからです。あとは何より一番欲しいのは、読書をしたり、お昼ねをするためのハンモックです。これがあれば、完璧!

かおるくんのすてきな木には、とっぺんに小さいけれどかわいい見晴らし台があります。もしも私が見晴らし台を作るとしたら、遠くまでよく見えるぼうえんきょうをつけたいです。毎日ぼうえんきょうをのぞいて、何かすてきなものがないか探したいです。あとここで、私は一つ気に入らないことがあります。それは、本の中で、『見晴らし台はゆれるかもしれない』と、という言葉のあとで、『それでもかおるは平気です。だって男の子ですからね』というところです。女の子だって、ゆれても平気です! さいごにかおるくんは、お父さんに相談します。そして、すてきな木が実現して木の上に二人で小屋を作るために、「まてばしい」という木を庭に植えます。「まてばしい」は、とても大きく育つ木だそうです。これを読んで私も、「まてばしい」をうえたい!とお父さんに言ってみようかなと思いました。



◆中京高校 保育クラス生徒さんによるガラス絵 (市民公園内 喫茶“欒”)

●1年間、素敵な絵をありがとうございました。これからも地域を和ませるためにご協力をお願いします！



春

入園式
こいのぼり祭り



秋

十五夜お月見
ハロウィン

夏

七夕
織姫と彦星



冬

クリスマス
お正月



お知らせ

◆令和6年度 明世地区まちづくり推進協議会総会を開催します。

●開催予定日 4月28日 13時00分～14時30分 @明世小学校体育館

◆明世地域計画2024が始まります。 ※計画の冊子を、全戸配布します。

●私たちが住むこの明世の10年後を見据えた目標に向け、区長会と一体となり推進します。

◆令和6年度コミュニティ・スクールへの取組にあたり…

- 明世小学校では、3年目としてのより一層有意義な活動に、取り組んでいきます。
- 瑞浪北中学校では、“実行初年度として、学区内の大湫、日吉、釜戸、土岐、明世の各地区関係者が一致協力して、取り組んでいきます。



東濃弁あるある(その21) 猫を飼っている人の会話

◆明世小学校5年生の「方言と共通語」の授業 (1月30日 5校時)

●地域協力者で東農弁の達者な可知勝宏さんを講師に、児童の皆さんには、方言の良い点と、伝えていくことの大切さも学んでもらいました。



こころへの わかあ こんたあ 東濃弁をつかうと いみがわからん ちゅうけど のうなっちゃうと たるうで ちいとつかうと ええがなあ



きんのお おらんとこのねこが へんびをとらんできやあがってほれも かどのあがりはなあもってきて くるくってけつかりやあがって えらあこっばあやったわ もだことやなあ ありやあ



ありやあ とらめてきやあ ふてときやがるもんであかんわ くच्चまやあ ええけど

まむしでも とらめてきて ほれが いきとったなんちゃあ おそごてかなわんの



皆さん意味はわかりましたか？ 答えは市HPの「東濃弁まるわかりブック“こころへの言葉”」がアップされていますので、ご覧になって下さい!!

◇本紙は、瑞浪市夢づくり地域交付金を活用して発行しています。